2022 年度 京のまちなか「龍池学区」活動報告

龍池大原学舎での活動を振り返って

わくわくする畑プロジェクト 2022 年度の活動を報告します。

龍池まちつくり活動は、2020 年から始まった新型コロナウイルス感染拡大によって 2021 年、2022 年にいたる 3 年間は事実上停止していました。その中にあって、龍池大原学舎による活動は、龍池自治連合会や大原の住民の方々の理解もあって継続することができました。

この大原わくわくする畑プロジェクトは、2021 年からほぼ毎月、場合によっては毎週活動を続けています。これは活動の中心になってくれた GT 学科藤松桃葉さんのおかげだと言って過言ではありません。また、藤松さんのよびかけで多くの学生さんが活動に参加しました。さらには GT 学科の藤倉先生にも何度か参加いただきました。あらためて感謝申し上げる次第です。

さて、龍池まちつくり活動もいよいよ活動再開という声も聞こえるようになってきました。4 月以降は、「京のまちなか」活動に学生さんも一緒に取り組んでいきたいと思います。

一方、藤松さんは 3 月 20 日に本学 GT 学科を卒業されました。そして、4 月以降は、農をとおした豊かなまちづくりを支援する団体として昨年立ち上げられた「わくわくする農とまちづくり　にじいろファーム」での活動を本格化されることになっています。

そこで大原学舎の管理も含め、龍池と大原の住民交流活動や南の研究活動の拠点として使わせていただくことになっている南としては、4 月以降は「にじいろファーム」さんに畑づくりを中心とした大原まちづくり活動を担ってもらうことにしました。したがって、国際文化資料館の地域活性化事業「京のまちなか」活動の中、この大原畑プロジェクトの活動は今年度で最後にしたいと思います。

もちろん、学生さんには引き続き活動に参加いただけるよう声をかけていきますので、今後もよろしくお願いします。

（グローバル観光学科：プロジェクトリーダー　南　博史）